

## ドクターカーチーム参画にあたっての取り組みと課題

◎宮本 康平<sup>1)</sup>、伊藤 英史<sup>1)</sup>、磯部 勇太<sup>1)</sup>、鈴木 雅大<sup>1)</sup>、大嶋 剛史<sup>1)</sup>  
医療法人 豊田会 刈谷豊田総合病院<sup>1)</sup>

【はじめに】当院は、病床数 704 床の第 3 次救急医療施設であり、2013 年 1 月からドクターカーの運行を開始し、年間 70～90 件の要請を受け活動している。メンバーは、医師、看護師、運転手(事務職)の 3 名で構成されており、病院研修中の救急救命士がいる場合のみ 4 名で出動している。しかし、研修は不定期であり 3 名での活動もマンパワー不足が懸念されていた。そこで、我々臨床検査技師は ER 常駐を機に、2023 年 4 月からドクターカーチームに参画することになったので、今回はその取り組みおよび現状を報告する。

【概要】①乗員メンバー：ER 業務を担当している検査技師、②出動日程：研修中の救急救命士が不在の場合に出動、③取り組み：ドクターカー業務の調整・履修および必要物品の確保、④教育および訓練：「日本救急医学会 認定 ICLS コース」・「日本災害医学会 MCLS 研修」・「JPTEC 協議会 JPTEC 研修」の受講、生理検査(心電図、心エコー)の履修等、⑤実績：2023 年 4 月～2023 年 9 月における検査技師の出動件数は、80 件中 40 件であった。

【活動内容】出動前の業務は、救急バックの物品チェックや補充、AED・ポータブルエコー・心電計の動作確認などを行っている。出動時の業務は、緊急走行時のアナウンス、救急現場到着後の活動記録、挿管の準備および補助、点滴の準備、心電図検査や血糖測定の実施など、検査業務だけでなくさまざまな業務を担っている。

【まとめ】ドクターカーチームに参画した当初は、検査技師として何ができるのか不安を抱えることもあったが、出動回数を重ねるうちに、多くの業務を担えるようになった。また、看護師の業務負担軽減にもつながり、救命処置に集中することができている。今後はさらに多職種とのコミュニケーションを密にし、処置や治療補助のトレーニングを行うことで、チーム一丸となって救急医療に貢献したいと考えている。一方で、現場で行うことのできる検査項目が少ないことが課題であり、POCT 普及が急務であると感じている。当日は、可能な限りドクターカー同乗にあたっての経験をご紹介したい。

連絡先：0566-25-8028